



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月5日

上場会社名 ライト工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1926 URL <https://www.raito.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿久津 和浩
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画本部長 (氏名) 西 誠 TEL 03-3265-2555
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|-------|------|-------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期第1四半期 | 23,212 | 4.1 | 2,017 | 31.4 | 2,243 | 35.1 | 1,536 | 31.7 |
| 2021年3月期第1四半期 | 22,293 | 2.4 | 1,536 | 12.9 | 1,660 | 15.0 | 1,167 | 17.6 |

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 1,618百万円 (△7.9%) 2021年3月期第1四半期 1,757百万円 (104.1%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期第1四半期 | 29.71 | — |
| 2021年3月期第1四半期 | 22.50 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2022年3月期第1四半期 | 106,983 | 74,422 | 69.5 | 1,442.25 |
| 2021年3月期 | 112,610 | 75,917 | 67.3 | 1,463.01 |

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 74,329百万円 2021年3月期 75,820百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期 | — | — | — | 50.00 | 50.00 |
| 2022年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2022年3月期（予想） | — | — | — | 51.00 | 51.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|-----|--------|-----|--------|-----|---------------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期（累計） | 49,000 | 1.0 | 4,600 | 2.0 | 4,700 | 1.4 | 3,300 | 0.4 | 63.68 |
| 通期 | 110,000 | 1.7 | 11,800 | 0.6 | 12,200 | 0.5 | 8,650 | 0.1 | 166.91 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注)詳細は、【添付資料】P.7「(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 2022年3月期1Q | 57,804,450株 | 2021年3月期 | 57,804,450株 |
| 2022年3月期1Q | 6,266,988株 | 2021年3月期 | 5,979,159株 |
| 2022年3月期1Q | 51,722,271株 | 2021年3月期1Q | 51,880,159株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果になる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |
| (会計方針の変更) | 7 |
| (会計上の見積りの変更) | 7 |
| (重要な後発事象) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、サービス支出を中心に個人消費の伸びが鈍く足元に弱さが見られるものの、先進国でのワクチン接種の進展等に伴う外需の回復により輸出や生産が堅調に推移するなど、全体としては緩やかに持ち直している状況です。一方で、足元では感染力の強い変異ウイルスの流行による感染再拡大が懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響等により、民間建設投資は引き続き低調に推移しておりますが、政府建設投資は防災・減災、国土強靱化及び将来を見据えたインフラ老朽化対策を中心として引き続き高水準で推移し、良好な受注環境が続きました。

このような状況のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間における受注高は、当社において大型の斜面・法面対策工事及び基礎・地盤改良工事を複数件受注したことにより、407億6千8百万円（前年同期比5.0%増）となりました。

売上高は、新型コロナウイルス感染拡大の影響もなく、手持ち工事の施工が順調に推移したことにより、232億1千2百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

利益面では、売上高の増加に加え、採算性が上昇したことにより、売上総利益は48億5千1百万円（前年同期比16.9%増）となりました。

また、営業利益、経常利益につきましては、売上総利益が増加したことにより、各々20億1千7百万円（前年同期比31.4%増）、22億4千3百万円（前年同期比35.1%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、15億3千6百万円（前年同期比31.7%増）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における受注の状況は以下のとおりです。

| 事業・工種別 | 2021年3月期第1四半期 | | 2022年3月期第1四半期 | | 比較増減 | 増減率 |
|-----------|---------------|--------|---------------|--------|--------|--------|
| | 受注高（百万円） | 構成比 | 受注高（百万円） | 構成比 | | |
| 斜面・法面対策工事 | 14,512 | 37.4% | 16,023 | 39.3% | 1,511 | 10.4% |
| 基礎・地盤改良工事 | 13,357 | 34.4% | 15,054 | 36.9% | 1,697 | 12.7% |
| 補修・補強工事 | 3,396 | 8.8% | 3,116 | 7.6% | △280 | △8.3% |
| 環境修復工事 | 554 | 1.4% | 1,061 | 2.6% | 507 | 91.5% |
| 一般土木工事 | 967 | 2.5% | 1,386 | 3.4% | 418 | 43.3% |
| 建築工事 | 6,027 | 15.5% | 3,741 | 9.2% | △2,285 | △37.9% |
| その他工事 | △1 | 0.0% | 383 | 0.9% | 385 | - |
| 合計 | 38,814 | 100.0% | 40,768 | 100.0% | 1,954 | 5.0% |

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産につきましては、受取手形・完成工事未収入金等の減少が、現金預金及び電子記録債権の増加を上回ったため、前連結会計年度末に比べ56億2千7百万円減少致しました。

(負債)

負債につきましては、支払手形・工事未払金等及び未払法人税等の減少が、未成工事受入金の増加を上回ったため、前連結会計年度末に比べ41億3千2百万円減少致しました。

(純資産)

純資産につきましては、株主配当金への振り替え及び自己株式の取得による減少が、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加を上回ったため、前連結会計年度末に比べ14億9千5百万円減少致しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月13日に発表しました2022年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金預金 | 28,259 | 28,939 |
| 受取手形・完成工事未収入金等 | 33,555 | 25,901 |
| 電子記録債権 | 5,778 | 6,692 |
| 未成工事支出金 | 2,331 | 2,823 |
| 有価証券 | 1,999 | 1,999 |
| 商品及び製品 | 22 | 22 |
| 仕掛品 | 0 | 0 |
| 材料貯蔵品 | 490 | 489 |
| 未収入金 | 74 | 54 |
| その他 | 1,321 | 1,249 |
| 貸倒引当金 | △42 | △40 |
| 流動資産合計 | 73,791 | 68,132 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物・構築物(純額) | 6,691 | 6,607 |
| 機械・運搬具(純額) | 3,214 | 3,306 |
| 土地 | 11,419 | 11,419 |
| リース資産(純額) | 29 | 26 |
| 建設仮勘定 | 228 | 466 |
| その他(純額) | 412 | 453 |
| 有形固定資産合計 | 21,995 | 22,280 |
| 無形固定資産 | 299 | 287 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 7,449 | 7,566 |
| 退職給付に係る資産 | 2,130 | 2,245 |
| 繰延税金資産 | 975 | 661 |
| その他 | 6,336 | 6,180 |
| 貸倒引当金 | △367 | △370 |
| 投資その他の資産合計 | 16,524 | 16,282 |
| 固定資産合計 | 38,819 | 38,850 |
| 資産合計 | 112,610 | 106,983 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形・工事未払金等 | 12,470 | 9,356 |
| 電子記録債務 | 7,817 | 7,752 |
| 短期借入金 | 815 | 1,117 |
| 未払法人税等 | 2,879 | 526 |
| 未成工事受入金 | 2,835 | 4,632 |
| 完成工事補償引当金 | 155 | 149 |
| 工事損失引当金 | 21 | 25 |
| 未払費用 | 2,689 | 2,036 |
| その他 | 5,937 | 5,833 |
| 流動負債合計 | 35,622 | 31,431 |
| 固定負債 | | |
| 長期末払金 | 110 | 163 |
| リース債務 | 15 | 18 |
| 繰延税金負債 | 2 | 2 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 786 | 786 |
| 役員株式給付引当金 | 91 | 96 |
| その他 | 62 | 61 |
| 固定負債合計 | 1,069 | 1,129 |
| 負債合計 | 36,692 | 32,560 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,119 | 6,119 |
| 資本剰余金 | 6,358 | 6,358 |
| 利益剰余金 | 65,761 | 64,703 |
| 自己株式 | △2,883 | △3,405 |
| 株主資本合計 | 75,355 | 73,775 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 589 | 474 |
| 土地再評価差額金 | △1,082 | △1,082 |
| 為替換算調整勘定 | 516 | 733 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 441 | 428 |
| その他の包括利益累計額合計 | 465 | 553 |
| 非支配株主持分 | 96 | 93 |
| 純資産合計 | 75,917 | 74,422 |
| 負債純資産合計 | 112,610 | 106,983 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | | |
| 完成工事高 | 22,192 | 23,143 |
| 兼業事業売上高 | 100 | 68 |
| 売上高合計 | 22,293 | 23,212 |
| 売上原価 | | |
| 完成工事原価 | 18,060 | 18,321 |
| 兼業事業売上原価 | 81 | 39 |
| 売上原価合計 | 18,142 | 18,360 |
| 売上総利益 | | |
| 完成工事総利益 | 4,131 | 4,822 |
| 兼業事業総利益 | 19 | 29 |
| 売上総利益合計 | 4,150 | 4,851 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,614 | 2,833 |
| 営業利益 | 1,536 | 2,017 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 7 | 2 |
| 受取配当金 | 34 | 90 |
| 受取ロイヤリティー | 9 | 12 |
| 受取保険金 | 4 | 111 |
| 受取賃貸料 | 38 | 65 |
| 為替差益 | 7 | — |
| 持分法による投資利益 | 63 | 51 |
| その他 | 27 | 16 |
| 営業外収益合計 | 193 | 350 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6 | 6 |
| 支払手数料 | 0 | 0 |
| 支払保証料 | 19 | 16 |
| 賃貸収入原価 | 27 | 80 |
| 為替差損 | — | 0 |
| その他 | 15 | 21 |
| 営業外費用合計 | 69 | 125 |
| 経常利益 | 1,660 | 2,243 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1 | 1 |
| 特別利益合計 | 1 | 1 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 0 | 0 |
| 特別損失合計 | 0 | 0 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,660 | 2,244 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 235 | 375 |
| 法人税等調整額 | 263 | 338 |
| 法人税等合計 | 499 | 713 |
| 四半期純利益 | 1,161 | 1,530 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △5 | △6 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,167 | 1,536 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,161 | 1,530 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 160 | △114 |
| 為替換算調整勘定 | 64 | 48 |
| 退職給付に係る調整額 | 9 | △13 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 360 | 168 |
| その他の包括利益合計 | 596 | 88 |
| 四半期包括利益 | 1,757 | 1,618 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,762 | 1,622 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △4 | △3 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、顧客との約束が財又はサービスを他の当事者によって提供されるように手配する履行義務である場合には、代理人として純額で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は106百万円減少し、売上原価は106百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、当第1四半期連結財務諸表への影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

持分法適用関連会社株式の売却

当社は持分法適用関連会社である新三平建設株式会社の保有全株式を、2021年7月30日に売却いたしました。

当該株式の売却により、同社は第2四半期連結会計期間において持分法適用除外となります。

1. 売却理由

当社は民間建築市場の今後の状況を鑑みて、新三平建設株式会社の全保有株式を売却することを2021年6月29日開催の当社取締役会において決議するとともに、2021年7月8日開催の同社臨時株主総会における自己株式取得の決議を受けて売却を実施いたしました。

2. 当該関連会社の名称、事業内容及び当社との取引内容

| | |
|------|---------------------------|
| 名称 | 新三平建設株式会社 |
| 事業内容 | マンション建築工事の請負、設計監理コンサルタント等 |

3. 業績に与える影響

2022年3月期第2四半期において特別損失735百万円を計上する予定です。